

会報・会誌委員会

一 発行のねらい

上小教育機関誌としての「会報・会誌」の編集、発行を通して、上小教育会の決定事項や事業内容を会員に伝達すると共に、会員相互の理解や研鑽の場を提供する。

二 編集方針

1 会報「上小教育会報」261号、262号の発行

- (1) 上小教育会の決定事項、事業の内容や会暦等を会員に報告する。
- (2) 学習指導委員会・調査研究等委員会の計画と研究の歩みを掲載する。
- (3) 教育現場における今日的課題やあり方等の会員の意見を掲載する。
- (4) 会等を考慮して、会員に依頼した執筆原稿を掲載する。
- (5) 前会員、郡外の先生方からの寄稿も掲載する。

2 会誌「上小教育」65号の発行

- (1) 教育会総会、菅平夏季大学、論説、研究、教育実践、随想、同好会の歩み、支会だより、会暦、視察報告等を掲載。
- (2) 支会、学校等を考慮し、執筆原稿を集め掲載する。

※会報・会誌共に、教育の専門職に携わる教職員の機関誌にふさわしい、質の高いものにする。

三 発行と発行内容

1 会報「上小教育会報」261号 8ページ 令和3年7月15日発行

○巻頭言 時代の大きな変化に挑戦する教育会

～できることを求めて～ 関 茂 会長

○退職者だより

・退職雑感 滝沢 克子

・たいへんお世話になりました 福澤 行雄

○表彰された先生方

○今年の抱負

○「新会員の抱負」「教師塾研修報告」「教育の広場」等を掲載

○学習指導研究委員会・調査研究等委員会の研究計画、委員名簿、上小教育会役員・年間計画

2 会報「上小教育会報」262号 8ページ 令和3年12月13日発行

○巻頭言 皆様に支えられて 笠原 利幸 副会長

○菅平夏季大学感想

○学習指導・調査研究等委員会研究報告

○「教室の窓」を掲載

3 会誌「上小教育」65号 約300ページ 令和4年3月上旬発行予定

○巻頭言

関 茂 会長

○菅平夏季大学

- 自然科学 「野鳥を通して日本の自然と文化を考える その2」 中村 浩志 先生
歴史 「天保の飢饉と酒について―上田藩の場合―」 尾崎 行也 先生
スポーツ 「これからの組み体操を考える
～ふれあいから学ぶ安全で楽しい運動として」 三宅 良輔 先生
教育 「発達障害の理解と、どの子ども輝くユニバーサルデザインの教育」
京極 澄子 先生
哲学 「木村素衛を読む ―コロナ禍の今こそ考えたいこと、変わらず大切なこと―」
西村 拓生 先生
会員発表 「よもやよもやの教育改革～学ぶ熱量のある学級づくり～」 樋口亜紀子

○郡外通信 宮下聡 水沢博昭 今井拓也 栗林幸治

○以上の他に「論説」「研究」「教育実践」「随想」「同好会の歩み」「寸感文芸」「支会だより」「視察報告」「会暦」「石井鶴三美術資料室だより」等を掲載した。

四 反省とまとめ

- 1 今年度は、小学校8名で活動をおこなった。原稿依頼と原稿集めを分担しておこなうので、各支会1名の委員は必要。
- 2 原稿集めは電子メールと紙媒体の両方で集めた。データと紙原稿を照合して確認をすることができた。会報・会誌は委員長が事前に企画案をつくり、会の中では割り付け・校正を行った。まん延防止措置適用期間中は、それぞれで原稿を持ち帰り校正作業を進めた。
- 3 副委員長が会合通知、会計係が会計を行い、役員として中心になって進めた。継続委員の前年度の委員長と推進係と委員長が相談を重ね、作業が確実に進んだ。
- 7 会報は年2回（7月・12月）発行し、会誌は年1回（3月発行予定）であった。教育会役員・世話係・代議員・執筆会員・教育会館職員・信教印刷の方々の協力により充実した機関誌となった。心から感謝申し上げます。